

復興へのあゆみ vol.20

復興に向けて一。あゆみを進める人を紹介します。

感謝の気持ちを胸に 明るい未来を僕らの手で

吉田中学校は平成30年7月豪雨により校舎浸水の被害に遭いました。校舎前に設置された復興記念碑には、当時の浸水高115cmが残されています。生徒会役員の4人は、発災時は中学生になったばかりの1年生。この校舎とともに、3年間復旧・復興の道を歩んできました。発災当時は猛暑の中、室外機が水没しエアコンも付かず、被災した家庭の片付けに追われました。水を吸った畳のずっしりとした感覚や鼻をつく強烈な臭い、拭いても拭いても残る土ほこりなど、今でも記憶に残っていると話します。

発災から10日後に授業が再開しましたが、通学路も危険な状態で小学校の教室を借りての再開でした。懐かしさの半面、友人に会えず心配な毎日を過ごしたそうです。当初、2学期からの学校再開は困難と思われていましたが、多くの人の協力もあり8月27日には学校が再開。9月11日には体育祭も開催することができました。助けてくれた人々への感謝の気持ちを胸に、自分たちが地域を明るく元気にしたいという思いで生徒が考えたテーマ「明るい未来を僕らの手で」は、復興記念碑にも残されています。

災害復興掲示板

本庁 ☎24 - 1111

吉田支所 ☎52 - 1111

三間支所 ☎58 - 3311

津島支所 ☎32 - 2721

宇和海支所 ☎62 - 0311

※詳しくは、お問い合わせください。



吉田中学校3年生

左から水谷さん、赤松さん、幸淵さん、清家さん

profile

生徒会役員の皆さん。平成30年7月豪雨災害復興記念碑には、災害を経験した生徒たちが残した未来へのメッセージが刻まれ、当時の浸水高を示す石碑も残されている。



当時の記録を残すため、図書室に復興支援ルームを設置



被災当時の吉田中学校



校舎の前にある復興記念碑

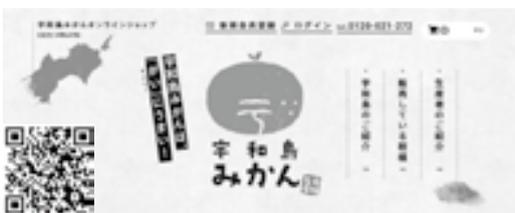


校舎のほか、体育館やプールなど全ての建物が被災

宇和島みかんオンラインショップ

宇和島かんきつ食べ比べセット、甘平、ブラッドオレンジ、不知火などを販売しています。3月からは宇和ゴールドも新しく追加される予定です。

このサイトは、平成30年7月豪雨からの復興支援プロジェクトとして、フィリップモリスジャパン合同会社や(一社)RCFの支援で開設されJAえひめ南が運営しています。自宅で宇和島産のかんきつが楽しめます。ぜひご覧ください。



復旧作業は地域の人やボランティアなど多くの人が協力

3年生になった今でも、通学途中に被災の爪痕を見かけることがあります。復興には時間がかかることを実感していると話します。生徒会の4人は「ボランティアなど多くの人の協力もあり、学校が早く再開できました。私たちにできることとして、当時の学校の状況を後輩に伝えることはもちろん、皆さんから受けた支援への感謝を伝えたいです」と話してくれました。